

森づくりによる低炭素社会づくりに向けて

～日常生活で排出したCO2をカーボンオフセットし、環境意識を高めよう！～

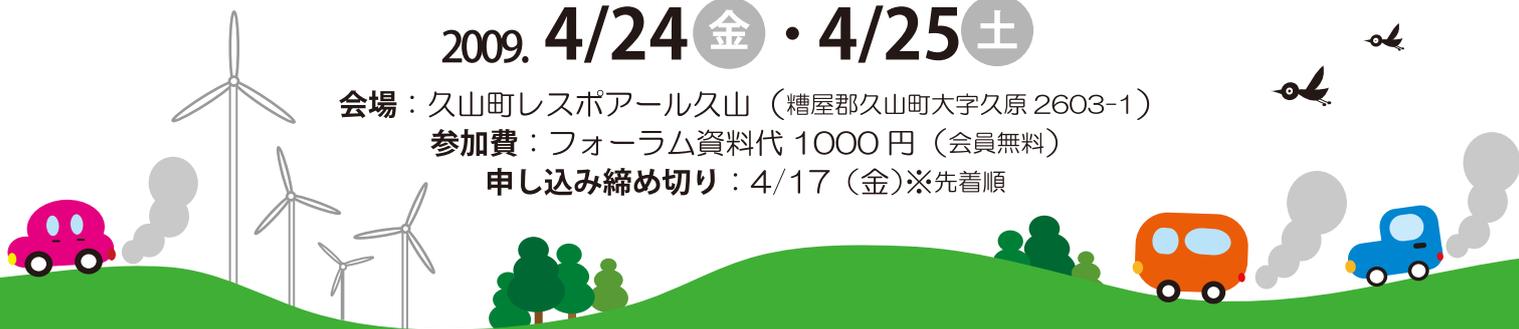


2009. 4/24 (金) ・ 4/25 (土)

会場：久山町レスポアール久山（糟屋郡久山町大字久原 2603-1）

参加費：フォーラム資料代 1000 円（会員無料）

申し込み締め切り：4/17（金）※先着順



昨年から京都議定書の第一約束期間が始まり、日本にとって、温暖化問題への対応は緊急の課題となっています。しかしながら現段階の国内CO2排出量は増加しています。最近、その解決方法のひとつとして、カーボンオフセットの仕組みが注目されています。カーボンオフセット（carbon offset）とは、人間の経済活動や生活などを通して「ある場所」で排出された二酸化炭素などの温室効果ガスを、植林・森林保護・クリーンエネルギー事業などによって「他の場所」で直接的、間接的に吸収しようとする考え方や活動の総称です。特に、自己で排出したCO2を、森林管理によって吸収・固定する仕組みに対して、国内において積極的に仕組みのルールづくりがされようとしています。しかしながら注目されている森林は、木材価格の暴落の連動による森林の資金循環が滞り、山村の過疎化、高齢化が引き起こされ、放棄された森林が急増するなど本来の素晴らしい森林機能は失われています。

本セミナーでは、カーボンオフセットの仕組みを活用しながら、将来の低炭素社会づくりに向けた森づくりはどのようになるべきかについて、先進的に取組まれている高知県や北海道の事例をもとに、吸収量算定の明確化や、どの森林施業を対象とみなすのか、結果の信頼性をどのように担保するのかなど具体的な議論を行い、九州における森づくりの将来像とカーボンオフセットの仕組みづくりについて検討するために開催致します。ぜひ、この機会にご参加ください。

1日目 2009年4月24日（金）

- 🕒 15：00～17：00（久山町役場14：50集合）
「久山町での木材トレーサビリティ事業について」
久山町森林組合 今任 啓一氏
- 🕒 18：00～懇親会（未定）（会費4000円）

2日目 2009年4月25日（土）

- 🕒 10：00～11：30（久山町レスポアール久山9：30開場）
基調講演：小林紀之氏（日本大学大学院法務研究科教授）
「カーボンオフセットによる森林再生の可能性について」

昼食

<パネルディスカッション> 13：00～15：00

「先進地におけるカーボンオフセット事業の効果と課題」

- 春日隆司氏 北海道下川町地域振興課長
- 水谷伸吉氏 有限責任中間法人more trees 事務局長
- 矢房孝広氏 宮崎県諸塚村企画課長
- 小森耕太氏 山村塾事務局スタッフ
- コーディネーター 三浦逸朗（ミウラクワノパートナーシップ有）

日時：2009年4月24日（金）25日（土）
場所：レスポアール久山
糟屋郡久山町大字久原2603-1（定員150名）
電話：092-976-2444



アクセス：高速福岡IC車10分

【主催】NPO法人九州森林ネットワーク 【共催】久山町

【後援】福岡県、熊本県、大分県、宮崎県、浮羽市、小国町、諸塚村、浮羽森林組合、耳川流域森林組合、NPO法人地域環境ネットワーク、他九州各県（すべて予定。）

問い合わせ

・久山町田園都市課 TEL 092-976-1111

・NPO法人九州森林ネットワーク事務局（小国町森林組合事務所内）TEL 0967-46-2411

参加申し込みフォーム

F A X : 092-976-2463 か E メール : sangyou@town.hisayama.fukuoka.jp にお申し込みください。
URL <http://www.geocities.jp/shinrin9net/info@ogunisugi.com>

□ 申し込み締切り日 ; 平成 21 年 4 月 17 日まで □

お名前:

所属:

住所:

電話番号:

FAX番号:

Eメール:

弁 当 : 25 日昼食分 要 (500 円) ・ 不要 (*どちらかに○をしてください。)

交 流 会 : 参加 (¥4000 円) ・ 不参加 (*どちらかに○をしてください。)

宿 泊 : 希望 (¥6000 円) ・ 不 要 (*どちらかに○をしてください。)

通信欄 (ご要望など):

※なお、定員に達し次第、受付は終了させていただきます。その際、事務局より連絡差し上げますので何卒ご了承ください。
※個人情報について --- ご記入いただいた個人情報は、当セミナーに関する運営にのみ使用いたします。また、その個人情報は、法令の定めに従って適切に管理いたします。

問い合わせ先

・久山町田園都市課 TEL092-976-1111

・NPO法人九州森林ネットワーク事務局 (小国町森林組合事務所内) TEL0967-46-2411



講演概要 & 講師紹介

(1) 基調講演 「カーボンオフセットによる森林再生の可能性について」

小林紀之氏 (こばやし のりゆき)

カーボンオフセットの仕組みを活用しながら、将来の低炭素社会づくりに向けた森づくりはどのようになるべきかについて、先進的に取組まれている高知県梶原町の具体的な事例をもとに、吸収量算定の明確化や、どの森林施業を対象とみなすのか、結果の信頼性をどのように担保するのかなど具体的な議論を行い、九州における森づくりの将来像とカーボンオフセットの仕組みづくりについて最新の情報をご提供頂きながらお話をさせて頂きます。

<経歴>

日本大学大学院法務研究科(法科大学院)教授。同大学生物資源科学部兼担教授。博士(農学)(北海道大学)。1940年東京都生まれ。1964年、北海道大学農学部林学科を卒業して、住友林業(株)に入社。1998年に理事、2001年に研究主幹。2003年6月に同社を退職後、2004年4月から現職。IPCC第4次評価報告書・第3作業部会・統合報告書のExpert Reviewer、環境省のカーボンオフセット検討会委員、京都メカニズムに関する検討会委員、森林総合研究所外部研究評価委員などを歴任、林野庁の次期枠組みにおける吸収量計上方法等調査委員会委員、CDM植林技術指針調査委員、環境省の森林等の吸収源に関するワーキンググループ、高知県協働の森づくりCO2吸収認証委員長などを務めている。

主な著書に、「ゼミナル地球環境論」(共著、慶応義塾大学出版会、1999年)、「21世紀の環境企業と森林」(日本林業調査会、2000年)、「地球温暖化と森林ビジネス 第3版」(日本林業調査会、2005年)など。

(2) パネルディスカッション 「先進地におけるカーボンオフセット事業の効果と課題」

春日隆司氏 (かすが たかし) 北海道下川町地域振興課長

1977年拓殖大学政経学部卒業後、下川町奉職。北海道開発局への出向を経て、1995年1月よりアメリカモンタナ州立大学へ留学し、資源循環マネジメント専攻する。1997年、下川町企画振興課長補佐、2000年まちづくり推進室長補佐。2002年4月より財団法人下川町ふるさと開発振興公社でクラスター推進部長を務める。現在、下川町地域振興課長。

水谷伸吉氏 (みずたに しんきち) 有限責任中間法人 more trees 事務局長

1978年東京生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業後、株式会社クボタを経てインドネシアでの植林団体で熱帯雨林の再生に取り組む。その後2007年に音楽家の坂本龍一氏と4人の発起人、102人の賛同人により発足したmoreTreesの設立時に事務局長に就任し、以来現職。森づくりによる「カーボンオフセット」(排出したCO2を相殺する活動)を進める。

矢房孝広氏 (やぶさ たかひろ) 宮崎県諸塚村企画課長

1962年宮崎県諸塚村生まれ。1985年九州大学建築学科卒業後、10年間建築設計事務所勤務。1995年Uターンして諸塚村役場へ入庁。1996年、諸塚村産直住宅プロジェクトに参加し、地域材を用いた環境に優しい家づくりを進める。2001年からエコミュージアムもろつか館長を兼任し、観光協会直営事業や都市との交流による村づくりに携わる。2004年には諸塚村森林認証研究会の事務局の一員として、日本で初めての村ぐるみのFSC森林認証取得に関わる。2007年から現職。

小森耕太氏 (こもり こうた) 山村塾事務局スタッフ

1975年福岡市生まれ。大学時代に山村塾の活動に出会い、山仕事や農作業、地元のおいちゃん達と焼酎を飲むことに熱中。卒業後の2000年4月に山村塾事務局スタッフになり、八女郡黒木町に移住。以後8年間、山村塾のスタッフとして、地域の農林家と連携し、大人から子供まで都会からボランティアや農林業体験を受け入れている。合宿型ボランティア活動の推進を目指す全国ワークキャンプフォーラム実行委員会や森づくり安全技術・技能全国推進協議会などにも参加している。